Creative Enzymes®

ネイティブウサギアルカリフォスファターゼ

Cat. No. NATE-0060

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	アルカリフォスファターゼ（ALP、ALKP、ALPase、Alk Phos）（EC 3.1.3.1）は、ヌクレオチド、タンパク質、アルカロイドなどの多くの種類の分子からリン酸基を除去する役割を持つ加水分解酵素です。リン酸基を除去するプロセスは脱リン酸化と呼ばれます。名前が示すように、アルカリフォスファターゼはアルカリ性環境で最も効果的です。時には基本的なフォスファターゼと同義で使用されることもあります。
別名	アルカリフォスファターゼ; ALP; ALKP; ALPase; アルクフォス; EC 3.1.3.1; アルカリフォスホモノエステラーゼ; グリセロフォスファターゼ; フォスフォモノエステラーゼ

製品情報

種	ウサギ
由来	ウサギの腸
EC番号	EC 3.1.3.1
CAS登□番号	9001-78-9
活性	0.2-0.6 単位/mg 固体（グリシンバッファー中）
単位定義	1ユニットは、37°CでpH 10.4の条件下で1分あたり1μmoleの4-ニトロフェニルリン酸を加水分解します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C